

留学先大学： School of Oriental and African Studies留学先での所属学部・研究科： Japan Korea exchange programme留学先での在籍身分： Undergraduate留学期間： 2013 年 7 月～ 2014 年 6 月神戸大学での所属学部・研究科： 国際文化学部学年（出発時）： 3本報告書記入日： 2014 年 7 月 1 日**授業について**

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1	Urdu Language1	Naresh Sharma	5	1	12	次の授業でやる範囲を一度読んでから臨むと良いと思います。小テストが何回もあり、最後に筆記試験とスピーキングのテストがあります。
2	Performance1b (Thai music)	Nick Gray	2	0.5	6	実技の授業なので基本的に予習はありません。可能ならば復習をしておくと思います。
3	The world of Cuban music	Lucy Duran	2	0.5	30	予習としてリーディングリストのテキストを読んでおくと思います。テストは筆記とリスニングです。
4	Gender and music	Rachel Harris	2	0.5	30	リーディングリストの文献を予め読んでいくことをおすすめします。テストはなく、レポート二つで成績評価がなされます。
5	The Anthropology of African and Asian Communities	Parvathi Raman	3	0.5	100	リーディングリストの文献を読んで授業に臨むことが求められます。できればレクチャーの前に読み終わっておくとなお理解が深まると思います。
6	African and Asian cultures in the diaspora	Parvathi Raman	3	0.5	80	同上
7						
8						
9						
10						

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

クラスサイズは授業によってまちまちですが、10人程度の小規模なクラスから履修者が100人程の大きなものまであります。成績評価は基本的に学年末にあるテストでなされます。最後の学期は復習の授業が数回(ない授業もある)とテストのみなのでみんな必死です。

費用について

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

・航空運賃： ¥ 204,930・住居費： (月額) ¥ 80,000 × (留学月数) 12 ヶ月 = ¥ 960,000・食費： (月額) ¥ 20,000 × (留学月数) 12 ヶ月 = ¥ 240,000・保険料： ¥ 141,120・その他： 交際費等の雑費 ¥ 100,000(奨学金)×12ヶ月 = 1200,000合計： ¥ 2,746,050 (留学期間全体の費用)

その他 自由に記入してください。（800字～）

留学を終えて約一ヶ月が経とうとしている今、この一年間の交換留学を思い返してみると、やはりあっという間だったなと感じます。中間報告の際も4ヶ月があっという間だったと述べましたが、その時と同じ感覚です。中間報告以降の留学期間をざっと振り返ると、学期中は勉強メイン、休みに入ると旅行に出かけ、試験期間になるとまた勉強モードに切り替える、といった感じでした。授業においては、予習復習といった勉強の要領を掴み始め、また特に少人数クラスの場合は他のクラスメイトとも打ち解けていきました。授業、とくにチュートリアルを進め方は担当チューターによって様々でしたが、彼らの進め方に徐々に慣れていきました。一年を通して苦労したのはやはりチュートリアルでのディスカッションでした。生徒とチューター全員で話を進めていくため、全員の話している内容を理解し、さらに自分の意見を考える、というのがわたしが苦労したところでした。日本語で話しているときもそうだと思うのですが、議論が白熱していくとたいいてい人はみな早口になってくるので、ついていくのに多々苦労しました。また、勉強面で一つ留意しておかなければならないのが、SOASの試験は1タームの授業、通年授業に関わらず、全て一年の最後に試験が行われるということですので、term 1のみだった授業は試験学期であるterm 3にrevision classが行われることがほとんどですが、自分でもterm 3が始まる前から少しずつ準備しておくことが大事だと思います。わたしの場合、1学期のみの授業を多く履修していたためその点が大変でした。試験の形式は授業によって異なると思いますが、わたしが受けた筆記試験タイプのもは全て論述形式でした。その他、言語や音楽の授業の試験には口頭試験や実技試験がありました。

休みの期間は、やはり限られた留学期間だったこともあり、積極的に旅行に出かけていました。最初の長期休暇であったクリスマス休暇では他のヨーロッパ諸国を訪ねる周遊旅行を友達とし、春休みはヨーロッパを離れブラジルを訪れました。そしてテスト終了後はイギリス国内でまだ訪れていなかった街へ足を運びました。

自分の学んだ分野に関する学力向上や英語力の向上については正直実感がありません。一年の留学で劇的に向上するものでもないだろうと思いますが、英語力に関しては現地の友人たちから最初よりも良くなっていると言われたりしたので、やはり現地で暮らすということ、生活の基本が英語であるということは大きかったのかなと思います。